

平成29年度 第2回座間市廃棄物減量等推進審議会 会議録

日 時

平成29年11月16日（木） 午前10時～午前11時20分

開催場所

座間市役所 5階 5-6会議室

出席者

曾根委員、佐山委員、芥川委員、長本委員、松本委員、西村委員、實方委員、森委員  
(全員出席)

事務局

環境経済部長、資源対策課長、主幹兼資源対策係長、資源対策係主事2名

傍聴者

0名

公開可否

公開 一部公開 非公開

議 題

議題1 一般廃棄物処理基本計画案について

議題2 大和高座ブロックごみ処理広域化実施計画案について

資 料

資料1 席次表

資料2 一般廃棄物処理基本計画案および概要版

資料3 大和高座ブロックごみ処理広域化実施計画改訂素案

開 会

- ・部長あいさつ
- ・事務局から、過半数の出席による審議会の成立、審議会の公開・傍聴について説明

審議の概要

議題1 「一般廃棄物処理基本計画案について」

事務局から一般廃棄物処理基本計画案の変更内容について説明した後、質疑を行った。  
概要は次のとおり。

- 会 長 事務局からの説明に対して、ご質問のある方は挙手をお願いします。
- 部 長 説明した部分以外に関するご質問でも構いません。よろしくお願いします。
- 会 長 他市に比べてごみの減量化が進んでいるというのは、以前からの市の取り組

みが功を奏しているのだと思いますが、そうした中で、特に行政として力を入れていることがありますか。

課長 毎年様々な取り組みをしておりますが、その根底にあるのは、ごみ問題が何か特別な施策によって急激に変化することはない、ということです。市民の協力、これ無くして成し得ません。我々のスタンスとしても様々な施策を考える中で、市民の理解を得ること、また周知伝達のため、一つ一つ愚直に取り組み、積み重ねることで大成すると考えています。

事業系ごみの量については、経済動向に左右される面がありますが、以前は少なかったものが最近増加しています。今までとは違った側面から取り組む必要があります。今年から事業系ごみの削減に力を入れておりまして、市内の各商店を巡回し訪問調査をさせていただき、事業者の方にごみの減量を愚直に訴えていきたいと考えています。

部長 4月に着任して率直に感じたことは、収集現場の職員が自ら啓発のパネルを作製するなど、子供に向けた啓発活動を行っていることです。こうした取り組みによって、同席した親御さんの意識も高まり、ごみ減量の一因になっていると感じました。

会長 他にございませんか。特に無いようでございますので、続きまして「議題2 大和高座ブロックごみ処理広域化実施計画案について」事務局より説明を願います。

## 議題2 「大和高座ブロックごみ処理広域化実施計画案について」

事務局から大和高座ブロックごみ処理広域化実施計画改訂素案の変更内容について説明した後、質疑を行った。

概要は次のとおり。

会長 事務局からの説明に対して、ご質問のある方は挙手をお願いします。

長本委員 大和市は確か有償で三浦市のごみを受け入れていましたよね。それは、この大和高座ブロックに絡んでくる場合、受け入れないということですか。

課長 他市の焼却場の都合で、有償で受け入れるといった相互協力はしております。ただ、暫定的、一時的ということで、広域化ブロックの中に三浦市が入ってくるといった情報は得ておりません。

森委員 新焼却炉の能力に比べ焼却量が上回っているが、大丈夫なのか。見通しは。

課長 景気回復、それに伴う店舗の増加により事業系ごみが増えています。私どもも危機感を覚えています。座間市として、新焼却炉の稼働開始までに約1千トン減らさなければならないという課題があります。多量排出事業者にコンサル

と訪問調査を行い、どうしたらごみの排出量を減らせるのか現在調査中です。引き続き取り組んでまいります。

森 委員 「前計画目標値の達成状況」を見ると、「一人一日あたりの家庭系ごみの減量化量」以外は未達成である。市民への啓発に力を入れないと達成は難しいのではないかと感じた。

課 長 家庭系ごみについては、ほぼ目標を達成しています。事業系ごみの急増により全体として未達成となっておりますので、その削減を強力に推進します。

会 長 ごみの排出量を減らすのも大事だが、リサイクルも大切である。今後、ごみの分別が徹底されれば、目標達成は容易になると思う。行政として改善すべき点はあるか。

課 長 燃えるごみの組成分析では、雑紙、容器包装プラスチックがかなり含まれています。これらを分別していただくのが重要になるわけですが、特効薬はありません。子供に向けた啓発活動の効果が出る、10年スパンで考えております。

森 委員 分別啓発のため施設見学に主婦が子供と参加できるよう、夏休みの開催を企画してもらいたい。

松本委員 大学生など若者の単身世帯に分別の徹底をどう伝えるか、考えるべき。

課 長 委員皆様の貴重な意見をこの計画改定に反映させてまいります。

会 長 市民の意識を変えるのは難しいと思うが、事務局には継続して取り組んでいただきたい。

長本委員 今後、少子高齢化で家庭系ごみは微減と思われるが、全体のごみの排出量を減らすには我々事業系ごみの削減に向け大ナタを振るっていくしかない。

我々事業者も施設見学に参加し、意識改革が必要である。

西村委員 市民に対し、時間を掛けて意識改革をしなければならない。

松本委員 NHKのこどものうたで「ポイブーブー」というキャラクターがいる。その影響で、子どもたちが収集車に乗りたがるなど、とても人気がある。座間の収集車はイラストが描かれており、イメージもとても良い。この「ポイブーブー」を活用するなど、更なる啓発に生かしてはどうか。

課 長 座間市には、パッカ君というキャラクターがおり、市内の子どもたちに慕われております。ふるさとまつりにも参加し、啓発を行ってまいります。

会 長 パッカー車のラッピングも重要な啓発活動だ。従来のごみ収集車のイメージと異なり、収集車らしくなくてとても良い。

宮島主事 イベントでの啓発活動につきましては、直近ではふるさとまつり、ホシノタニマーケットにて実施する予定です。今後も啓発活動を継続してまいります。

長本委員 ごみ問題については、単独市だけでなく周辺も含めたエリアとして考えていく必要があると思う。マンションなどの大規模開発によっても、ごみ排出量が

影響を受けるので、都市計画サイドなど多方面と問題を共有した方が良い。

森 委員 座間市より綾瀬市の方が企業誘致しているのので、事業系ごみは綾瀬市の方が増えるのではないかと。

長本委員 大企業の出店の場合、そこまでごみの量は増えない。事業所規模の大きさに比例して、減量化、資源化に対する意識は高く、取り組みは進んでおり、モラルもある。

課 長 大企業の出店に関しては、減量化、資源化の意識が高いため、事業系ごみの増加にさほどつながらないと考えています。これから転入マンションに入居する市民に対しては、啓発を行っていきます。

實方委員 家庭系ごみの減量には、有料化が有効ではないかと。

課 長 計画の中では、有料化は検討課題です。有料化は「劇薬」と考えています。一時的にごみは減るかもしれませんが、経済的に余裕のある方には、インセンティブが働きません。有料袋が買えない、買いたくない方は、近隣市に捨てるかもしれません。必ず副作用があります。座間市民の高い意識とモラルで減量化が進んでいるので、このまま市民と協調し、地道に着実に取り組んでいきたいと考えています。

森 委員 分別のために、ミックスペーパーを入れる袋を配布すれば良いのでは。

課 長 過去に実施した経過があります。当時は費用対効果が悪く取りやめましたが、現在の費用対効果について再検討する余地はあるかと思えます。再度検討して参ります。

松本委員 自分たちの活動の話になってしまうが、フードバンクや衣類補助を行って、家庭で余っているものを必要な人に届けている。家庭で余っているものがごみになってしまうのであれば、ごみを減らすため、フードバンクなどを活用してもらいたいと思う。

實方委員 市役所でフードバンクを実施してはいかがかと。

松本委員 市役所にはすでにフードバンクに協力いただいている。社会福祉協議会等にもご協力いただいている。市民ふるさとまつりにはブース出展もあります。今後も市と協力して活動を続けていきたい。

会 長 ごみの減量は、一番身近で一番難しい。地道に啓発を続けるのが大事。

他にございませんか。特に無いようでございますので、これで終了とさせて頂きます。それでは進行の方を事務局に返します。

・事務局から次回審議会の予定（2月）について説明

閉 会